

- タウン情報 -

きくがわ

2021

1

Vol. 174



明けまして

おめでとう

大字中野 徳本牧場の牛 さつきちゃんです

地域の方々に新年の
お喜びを申し上げます

住みよい菊川をつくる会
会長 小林 雄二

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止として三密（密閉・密集・密接）を避けようと、多くのイベントが中止又は縮小され、地域のコミュニティ活動も例外とはなりません。活動も新型コロナウイルス感染症の一日でも早い収束を心より祈っているところです。

住みよい菊川をつくる会の目的は、「お互いの協力と信頼を高めながら心のふれあう文化的で明るく住みよい菊川をつくる」という事です。

菊川地域は新居を求めてこられた方々も増えてきておりこの目的は地域活動の中心をなすものだと思います。

現在、菊川地域の魅力を再発見する「菊川夢プランづくり」を、公募委員を含む約四十名が市の職員さんや地区担当保健師さんなどの協力を得て、実施しています。

令和元年七月の第一回策定委員会から月一回のペースで会議を行ってきました。令和三年三月末には菊川地区夢プランが完成する予定です。

新型コロナウイルスの影響でスケジュール的には少しつかいかもしれません。が、新年度から「地域の夢プラン」がスタートできたらいいなと思っています。

住みよい菊川をつくる会 次回発行は令和3年4月です。

タウン情報 きくがわ (174号) 2021年1月1日発行

発行 / 住みよい菊川をつくる会 問合せ / 菊川市民センター 〒746-0082 山口県周南市大字下上2146
☎ 0834-62-2801 ✉ kiku-ko@city.shunan.lg.jp

きくがわ

情報広場

● 芋ほり

11/11（水）に小学生や園児たちが、下上老人クラブと加見老人クラブの方々の協力により芋ほり体験を行いました。例年に比べてとても大きい芋が掘れ、子ども達も大満足の様子でした。



● 加見公園のイルミネーション

11月末から加見連合自治会で、加見公園を電飾で飾っています。皆さま、観に行かれてはいかがでしょうか？ステイホームでがんばろう！



■ 数字で見る菊川 (11月末の人口等)

世帯 3,305 世帯/人口 7,906 人/男 3,836 人/女 4,070 人

お知らせ

ふるさとウォーク

12/5（土）に住みよい菊川をつくる会 健康・体育部会主催で、第9回菊川ふるさとウォークが開催されました。

今回は加見地区の貴重な史跡や景観を満喫できるコースとなっており、約5.2kmをかけて加見地区を堪能しました。

参加者は過去最高の46名。ソーシャルディスタンスを心掛けて歩いて回りました！

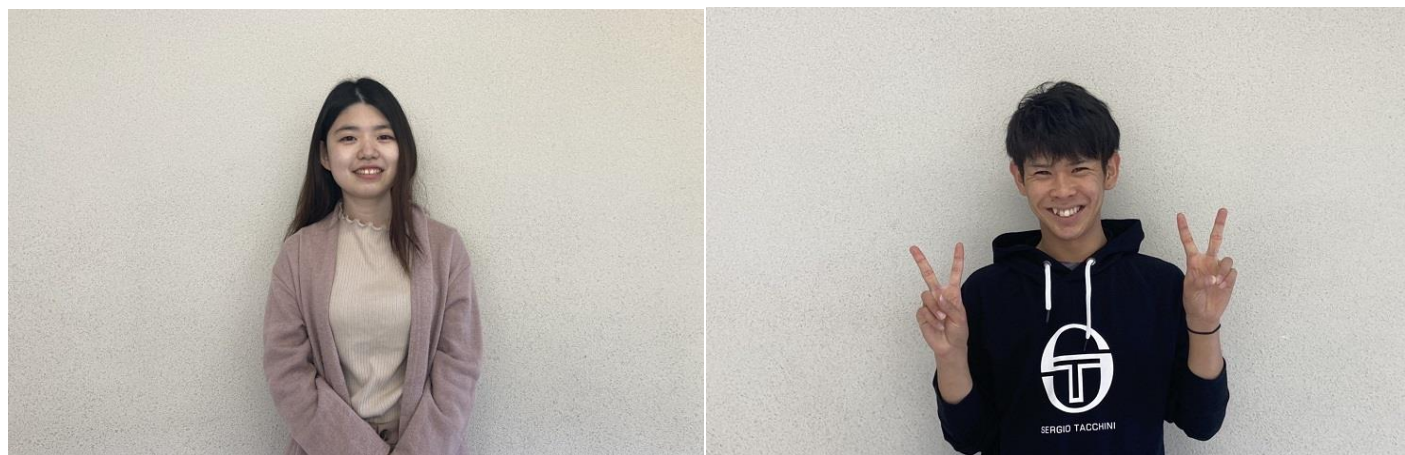


菊川中学校社会教育部水泳部 男子が県大会総合優勝!!

菊川中学校社会教育部水泳部が10/3に開催された、山口県中学校体育大会水泳競技の部男子総合優勝を果たしました！

メドレーリレーで1位、フリーリレーで2位を取るなど、部員一人ひとりの頑張りがこの結果をもたらしました。おめでとうございます!!





ふじい しゅうすい
藤井 柊水 くん
もとおり ななせ
本居 七星 さん

菊川地区の新成人を代表してお二人にインタビューをしました！

「まずは新成人おめでとうございます。」

【藤・本】ありがとうございます。

「新成人になられたお二人ですが、日ごろは何をされていますか？」

【藤】自分は工場で、プラントオペレーターとして働いています。製品が安全かつ正確に生産されるように管理する仕事です。

【本】私は、ドラッグストアで働いています。荷出しやレジ打ち、賞味期限チェック、数か月に一度行う棚替えという仕事などを行っています。

「お二人の小さいころの夢は何ですか？」

【藤】スポ少で野球をしていたので、プロ野球選手になることが夢でした。今でも趣味で野球を続けています！

【本】パティシエになることが、小学生までの夢でしたね。

「お二人の趣味は？」

【藤】先ほどお伝えした野球とゴルフですね。野球は会社内のチームやクラブチームに所属して楽しんでいます。ゴルフは練習中で、ラウンドには父や友人と行っています！



【本】音楽を聴くのが趣味です！それとは別に、去年くらいからテレビゲームに熱中しています。父と協力して楽しんでいます！

「最初のお給料は何に使われましたか？」

【藤】親孝行も兼ねて、家族を寿司屋さんに連れて行きました！

【本】大阪までライブを観に行きました！自分の給料で行く初めてのライブだったので、とても思い出に残っています。

「菊川での思い出はありますか？」

【藤】小学生の時のスポ少で、市内2位になって県大会に出場したことです。当時は興奮しました！

【本】中学3年の時に、地域の「学校に泊まろう」というイベントで小学生の引率役をしたことです。目的地向かう貸し切りバスが重すぎて故障し、代わりのバスに乗り換えたことが印象に残っています。

「新成人になるにあたって、これからの目標はありますか？」

【藤】結婚して温かい家庭を築くことが目標です！

【本】11月に登録販売者(第二、三類医薬品が販売可能)の資格を取りました。登録販売者としてしっかりと活躍できるように、もっと薬について詳しくなりたいです。

「今日はお忙しい中インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。」



菊川 深訪

第43回 神が天から降る村

春の季節に、天から降るものは、杉の花粉か桜の花びらであるが、この菊川地区の四熊では、天からお面が降って来て、その場所に「天降面石社」を祀っている。嘘でしょう！！でも、全国にも同様な話があり、翁(おきな) 神事を行う猿楽座(猿楽芸団)では伝説があり、「翁面は天から降って来た」という伝承もある。

それは、わが国の神話の中では、神の来臨は、天から降って来るか、海から流れついたという考えがある。古代の宇宙観の中には垂直軸だけでなく、根源的な水平軸もあった。例を挙げると、観世座発祥の地(奈良県磯城郡川西町結崎)には、翁面が天から降った面塚という場所がある。丹波猿楽の根拠地である京都府亀山市の鍬山神社にも、似た伝承があり、ここにも、天から降ったご神体として翁面が保存されている。お面というより、神が降臨した磐座(いわくら)と考えると不思議な話でなく、遠石八幡宮などの「影向石」も同様な意味である。

翁面は、老人の面相であり、特徴は、切あご(面の口から下の部分を切り離して、紐で結んである…あごが自由に動く)で、眼は「へ」の字形にくり抜かれ、額や頬には、意匠化された皺が刻まれ、長寿

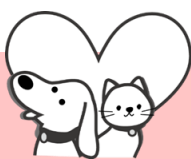
の福相である。

では、本題の伝承は、一五〇〇年頃(室町時代)奥四熊上に又右衛門が住んでいて、ある日天から夫婦二面が、その面石(写真参照)に降って来て、くるくる舞っているのを見つけた。夜になるとこの面が踊り、大騒ぎするので、富田土井の四熊家に預けた。その後この面は四熊家では「天乞いの祈願」として、用いている。勿論 四熊家側の伝承もあるが、相互を読んでも、違いがあるので、伝承に不確かさがある。

しかし、奥四熊の伝承からは、「舞っている」とか「踊っている」の言葉もあり、室町時代の起源と考えると、



「天降面石社」 (奥四熊)



わが家のペット 大集合

菊川のかわいいペットを集めました。今回はりんちゃん(犬)、かん太くん(ネコ)とすずちゃん(ネコ)です♪



仲良くしたいネコとしたくない犬！最近少しだけ距離が近くなりました。(ネコ) 先住犬のご機嫌を取るのは大変だニャー